

令和3年9月24日

世田谷区教育委員会
教育長 渡部 理枝 様

世田谷区立中学校PTA連合協議会
会 長 膳場 美帆

令和4年度 予算編成に向けて 『教育条件整備に関する要望書』

日頃より区立中学校教育の充実や発展のためにご尽力いただき誠にありがとうございます。また、世田谷区立中学校PTA連合協議会の活動につきましても、ご理解のもと、ご支援とご協力を賜り重ねて感謝申し上げます。

世田谷区教育ビジョンにおいて「一人ひとりの多様な個性・能力を伸ばし、社会をたくましく生き抜く力を学校・家庭・地域が連携してはぐくむこと」という基本的な考えのもと、多くの施策を実行いただき、より良い学校教育がなされることは我々の強い願いでもあります。

そんな中、学校や教職員が抱える課題が多様化する中で、令和2年度から続くコロナ問題など予測困難な時代を生きる子どもたちにとって必要となる力、豊かな人間性と生きる力の育成と共に世田谷らしい質の高い教育の充実をお願い申し上げます。

世田谷区立中学校PTA連合協議会では「教育条件整備に関する要望事項」を整理し、下記のような項目別にまとめました。

1. 学校教育環境の充実・整備に関する要望
2. 学校施設・設備の整備と安全に関する要望
3. 部活動に関する要望
4. 地域の教育環境、PTA活動環境の整備に関する要望
5. いじめや不登校の問題に関する要望
6. 4I組（旧ひなぎく学級）の教育センターへの移動に関する要望
7. その他

今後とも教育委員会と世田谷区立中学校PTA連合協議会との連携を大切に、子どもたちの未来のために、世田谷の教育が発展していくことを希望します。

令和4年度 教育条件整備要望書

1 学校教育環境の充実・整備に関する要望

近年、生徒を取り巻く環境の変化により、先生方には、人間関係形成や生徒の心の育成、保護者への対応など、学力の向上以外にも生徒一人ひとりへの多様できめ細やかな教育が求められています。しかし、先生方が生徒個々に対応する時間は少なく、先生方の指導力を十分に発揮するには難しい現状があります。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大がみられる中でも、従来の学校活動を少しでもできるようにと先生方にはご尽力いただき、例年以上に負担も増えています。生徒一人ひとりの多様な個性・能力を伸ばす教育理念を形あるもののできるよう、下記の事項を要望します。

社会の情報化が急速に発展する中、生徒が情報社会において、正しい知識を身につけ、活用していく事は当たり前となりつつあります。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、オンラインでの授業や保護者会、各種会議が行われるなど、環境は急速に変化をしています。生徒一人に一台のタブレット配布をしていただき、ありがとうございました。しかし、現状ではそのタブレットの機能を十分に活かすことができていません。生徒の持ち物の多いことによる体への負担等を考慮し、デジタル教材の活用を訴える声も引き続き多数上がっています。先進的にICTを使用した学習支援を行っている世田谷区だからこそハード面だけではなくソフト面においてもICT教育の充実と環境の整備を引き続き要望します。

(1) ICTの活用の充実（新規・継続）（2（1）と重複）

- ① 学校による環境に差が出ないように、各校の取組や活用方法の状況共有、統一化を要望
- ② タブレットを使用したアクティブラーニングの授業の増加を要望
- ③ ICT支援員の増員、配置時間の増加を要望
- ④ 教科書、資料、プリントのデジタル化を要望
- ⑤ プログラミング授業の充実を要望
- ⑥ 不登校生徒へのオンライン授業対応を要望（5（2）と重複）

(2) 教職員の増員（継続）

- ① 全クラス、担任副担任の2名体制、習熟度別クラスや支援を必要とする生徒対応など、教員の増員を切に要望
- ② スクールサポートスタッフの増員を要望
- ③ 学校包括支援員の複数配置、賃金の増額を要望
- ④ スクールカウンセラーの常勤もしくは増員、時間の延長を要望（5（1）①と重複）

(3) 少人数教育・授業（継続）

- ① 30人以下学級の全校、全学年での実現を要望
- ② 実践的な英語教育の充実を図るため、外国人教師、ALTの常勤配置、増員を要望
- ③ 主要5教科の習熟度別少人数制の授業を要望

(4) 特別支援教育の充実（継続）

- ① 生徒たちが無理なく通学できるよう、2校に1校程度、知的障害学級・肢体不自由学級の増設を要望
- ② 特別支援学級のさらなる充実のため、教員の増員を強く要望

(5) その他

- ① 英語、漢字、数学検定費用の補助を要望
- ② 理科の実験器具や英語の音響設備などを充実させるため、学校配当予算の増額を要望
- ③ 宿泊を伴う行事のトラブルに対応するため、宿泊介助員を増員するなど必要な人数の確保を要望

2 学校施設・設備の整備と安全に関する要望

時代の移り変わり、環境の変化など、これまでとは違う環境の整備が求められていることは学校教育においても例外ではないと感じます。各学校の地域性、立地などの環境も大きく異なることはありますが、ハード面での早急なケアが求められている現状も多くあります。また、ICT教育を発展させるため、ネットワーク環境など時代に合ったインフラ整備を求める声が多くなりました。世田谷区の施設として、地域と共にある学校像の拠点として下記の事項を引き続き要望します。

(1) ネットワーク環境設備の充実（新規・継続）（1（1）と重複）

- ① 校内において、端末数に制限なく使用できるよう、高速大容量通信ネットワークの整備を早急に要望
- ② タブレットPCの教員一人一台配置を要望
- ③ 上記要望に対応した教育に必要なソフトウェアの充実。必要に応じて全校一律に有料ソフトウェアの導入を要望
- ④ 電子黒板の設置を要望

(2) 新型コロナ関係（継続）

- ① 自動体温測定器、自動消毒薬ディスペンサーなど感染予防用消耗品の購入予算を要望
- ② 専門業者による校舎内の定期的な清掃を要望

(3) 校舎内外・体育館（格技場含む）の点検と改修（継続）

- ① 生徒が安全な環境で学べ、かつ地域の避難場所に指定された施設として近年多発する自然災害に備えるためにも、各学校の現状を把握し、校舎内外の老朽箇所の点検、補修、改修などの計画を明確化することを要望
- ② 公立中学校として全ての生徒を受け入れるために、車椅子や歩行が困難な生徒の移動を想定した各学校内の現状の把握と体育館や外トイレ等を含めた全校内のバリアフリー化を要望
- ③ 防犯上、門扉のオートロック化、防犯カメラの増設、校庭の目隠し設置を要望（2（11）と重複）

(4) 熱中症対策のための設備充実（継続）

- ① 引き続き、生徒の安全な活動、夏場の活動拡大、またコロナ禍での換気の必要性を踏まえ、体育館空調設備のさらなる増設と機能強化を要望

(5) プールの環境整備（継続）

- ① 熱中症対策として、プールの水温、プールサイドの温度の上昇を抑えるための遮熱ネット、テントなどの設置を要望
- ② 更衣室にエアコン設置を要望
- ③ 近隣建物からの視線を遮るため、目隠し機能を考慮したフェンスの設置を要望

(6) トイレの洋式化、改修（継続）

- ① 洋式トイレが少なく、休み時間に生徒が集中。避難所にも指定されているので、高齢者や身体の不自由な方にも利用しやすいように校舎内及び外のトイレも含む全トイレの洋式化と増設を要望

(7) 校庭の改善（継続）

- ① 校庭の陥没箇所の点検、スプリンクラーの改修、テニスコートの整備、水はけの改善について引き続き要望
- ② 熱中症対策も含め、夜間にも活動できるように照明設備の設置を要望

(8) 給食（継続）

- ① 食物アレルギー疾患のある生徒は年々増加する傾向にあり、よりきめ細かな対応ができる自校調理方式の採用を引き続き要望

(9) 鍵付きロッカーの設置（継続）

- ① 通学時の荷物の軽量化のため、学校内に荷物を置いておけるよう、プライバシーが保護され安心して管理できる鍵付きロッカーの設置を要望

(10) 防災関係の要望（継続）

- ① 全校生徒にヘルメットの完備を要望

(11) 防犯・警備（新規・継続）

- ① 不審者情報が増加している中、学校関係者以外も自由に出入りでき、訪問チェックもできていない現状を鑑み、警備員の各校1名常駐（土曜授業日含む）を引き続き強く要望
- ② 防犯上、門扉のオートロック化、防犯カメラの増設、校庭の目隠し設置を要望
- ③ 学校ホームページ閲覧に関する安全性の向上を要望

3 部活動に関する要望

学校教育のみならず生涯学習の推進などを踏まえても、中学校での部活動は大変重要な教育活動の一つです。部活動の充実には、専門的指導と顧問教員の異動などで変わることのない環境の継続が必要です。関わる先生方には長時間の拘束、土日曜日・祝祭日の出勤など、かなりの荷重となっている現状も問題の一つとなっております。もう一方で、ガイドラインにもあるように、生徒の健全な成長に悪影響を及ぼすような指導なく、部活動に励むことができることも重要と考えます。教える側と教わる側の双方が、負担のない環境で幅広い充実した部活動に取り組めるような支援をお願いします。

(1) 部活動支援員制度の充実と待遇改善（新規・継続）

- ① 部活動運営において部活動支援員は顧問教員の負担を軽減する大きな担い手となっておりますが、必要な人員を手配するには学校配当予算が未だ不十分。また、謝礼単価に関してもさらなる増額を要望
- ② 部活動外部支援員確保のため、区によるサポートシステムの構築を要望
- ③ 外部コーチを呼ぶための資金援助を要望

(2) 部活動備品や用具の充実・メンテナンスなどに伴う予算の増額（継続）

- ① 充実した部活動を行うために必要な楽器や用具、備品などの購入費、メンテナンス費に充当する予算として各校に毎年20万円配当を要望

(3) 顧問教員の待遇改善（継続）

- ① 平成18年度より、世田谷区立学校管理運営規則に規定されているとおり、中学校の教育活動としての位置付けをより明確にするため、充実した支援を要望。特に顧問教員は、放課後や土日の部活動、試合の引率などで大きな負担を強いられるので、都だけでなく世田谷区からの顧問教員への手当の拡充、複数顧問制を要望

(4) その他

- ① 文化部のモチベーションの向上につながる、他校との交流や合同展覧会などの世田谷区による開催を要望
- ② 部活動時間や大会開催時など、不慮の事故が予測される時間帯の養護教員や派遣看護師の配置を要望

4 地域の教育環境、PTA 活動環境の整備に関する要望（継続）

- ① 図書館等の地域施設に思春期の子どもたちが安心して利用できる学習スペースの増設や学習指導員の配置を要望
- ② 家庭教育学級が、令和3年度も希望校のみの開催となりました。今後も任意で実施していくことを要望
- ③ 学び舎の小学校との連携に加え、高校、大学との交流の推進を要望

5 いじめや不登校の問題に関する要望

教育現場におけるいじめの未然防止、早期発見や発生後の対応などの重要性がこれまで以上に高まっており、いじめ防止に関する総合的な取り組みの実現のためにも、下記の事項を要望します。

(1) スクールカウンセラーの増配置（継続）

- ① いじめの早期発見・早期対応、不登校とならないための相談や、不登校児の対応にもあたるなどカウンセラーの業務が近年多事におよんでいる。また、生徒、保護者が必要な時にいつでも相談できる体制を望む声が例年各校より上がっている。カウンセラーの常勤、勤務日数の増加、勤務時間の延長を要望（1（2）⑤と重複）

(2) いじめ・不登校（新規・継続）

- ① 生徒達がいじめについて考えることの出来る機会を増やし、「いじめ防止プログラム」の内容のさらなる充実を要望
- ② 子ども、保護者、家庭、学校と関わりのバランスをとりながら、協調性や自立心を養い、不登校生徒の学校生活への復帰、自分らしい進路の実現を支援する「ほっとスクール」の増設や相談窓口の拡充を要望
- ③ 不登校生徒へのオンライン授業による対応を要望

6 4I組（旧ひなぎく学級）の教育センターに移動に関する要望（新規）

成長の過程において、体を動かすこと、他の生徒と触れ合うことは重要であると考えます。また、給食は材料費以外の部分は公費で負担されている中、区内 29 校を対象とした旧ひなぎく学級の子はその恩恵を受けられません。家庭の事情でお弁当を毎日用意することができない場合、子どもが学校に来られなくなる理由になるかもしれません。不平等であるばかりか、折角の4I組の良さを生かせなくなる恐れもあると考え、下記を要望します。

- ① 体育館や運動場になるような体を思いきり動かすことのできる場所を十分に確保することを要望
- ② 給食の提供を要望

7 その他

(1) 自習室・スポーツ施設の拡充（継続）

- ① 中学生が活用できる施設がまだまだ不足しているので、中学生の居場所づくりのためにも、青少年センターなどのさらなる建設を要望

(2) 携帯電話・タブレット端末に関するルールの設置（新規）

- ① 子どもたちの各タブレットの視聴時間などの制限を各家庭で設定できるようにすることを要望

(3) その他（継続）

- ① 本要望書の回答を長期、中期、短期計画として、回答していただく事を要望
- ② 新型コロナの影響による修学旅行中止の際に伴う企画料、キャンセル料の区による負担を要望
- ③ 徴収業務が、授業や生徒との関わりといった教員本来の業務の妨げにならない様、副教材費の公会計化を要望